

高速交通網調査特別委員会資料

(平成25年10月7日)

〔件名〕

- 高速道路の整備状況と今後の取組等について（道路企画課）・・・・・・・・・1

県土整備部

高速道路の整備状況と今後の取組等について

平成 25 年 10 月 7 日
道路企画課
道路建設課

1 平成 25 年度供用予定について

路線名	事業名	区間	延長 (km)	H25 年度 当初予算 (百万円)	供用 予定
山陰道	鳥取西道路	鳥取 IC～鳥取西 IC	1.8	3,920	年内
	中山・名和道路 名和・淀江道路	赤碕中山 IC～名和 IC	8.6	1,550	年内
				1,250	
山陰近畿 自動車道	駟馳山バイパス	福部 IC～岩美 IC	6.6	5,430	年度内

2 進捗状況と今後の取組等について

(1) 山陰道について

(ア) 鳥取西道路

6 月 14 日に公表された「平成 25 年度予算を踏まえた道路事業の見通しについて」において、吉岡温泉 IC～青谷 IC 間の開通予定が平成 29 年度と明記された。

残る鳥取西 IC～吉岡温泉 IC 間については、課題の解消等により開通の見通しが明らかになった場合に随時公表するとされており、鳥取西 IC～青谷 IC 間の一体的な供用に向け、県として埋蔵文化財調査等、最大限の協力を行う。

(イ) 北条道路

本年度、湯梨浜地区と北栄地区における交通安全対策事業（平面交差点の立体化）が事業化されるとともに、全線の事業再開に向けた計画段階評価を進めるために概略ルート・構造の検討を行う調査費が予算計上された。

路線名	位置	H25 年度 当初予算
国道 9 号	湯梨浜地区事故対策（はわい IC 付近）	54 百万円
	北栄地区事故対策（国道 313 号交差点付近）	

(ウ) 米子道路

平成 24 年度緊急経済対策において、付加追越車線の設置が事業化された。

路線名	区間	H24 年度 緊急経済対策	H25 年度 当初予算
米子道路	日野川東 IC～米子南 IC（上下線）	300 百万円	192 百万円

日野川東 IC 付近及び米子南 IC 付近の土工工事は発注済。

日野川渡河橋について、詳細設計中。

(2) 中国横断自動車道姫路鳥取線について

(ア) 鳥取自動車道

本年3月23日に全線供用済である。付加追越車線は用瀬IC～河原IC間の1箇所(延長1km)のみであったが、平成24年度緊急経済対策において、付加追越車線の設置が事業化された。

路線名	位置	H24年度 緊急経済対策	H25年度 当初予算
鳥取自動車道	鳥取IC付近(上下線)	300百万円	150百万円
	智頭IC付近(上下線)		
	福原PA付近(上り線)	150百万円	50百万円
	西粟倉IC付近(上下線)	270百万円	190百万円

鳥取IC及び智頭IC付近については、トンネル・橋梁の詳細設計中。

福原PA付近の本体工事は発注済であり、来年度完成予定。

(イ) 播磨自動車道

播磨新宮IC～山崎JCT間の供用予定の前倒しについて、事業主体であるNEXCO西日本や国交省に対して要望しているところ。

路線名	区間	延長(km)	整備状況
播磨自動車道	播磨JCT～播磨新宮IC	12.8	H15年3月供用済
	播磨新宮IC～山崎JCT	11.4	H32年度供用予定

(3) 中国横断自動車道岡山米子線について

(ア) 蒜山IC～米子IC間の4車線化

落合JCT～米子IC間は平成4年度までに暫定2車線で供用され、岡山県内区間(落合JCT～蒜山IC)は平成23年度までに全線4車線化済である。

鳥取県内区間(蒜山IC～米子IC)では約1/3の区間で追越車線はあるものの、未だ暫定2車線となっており、全線の4車線化を事業主体であるNEXCO西日本や国交省に対して要望しているところ。

(イ) 米子～境港間

米子～境港間の高規格幹線道路について、その必要性の検討も含めた広域的な観点から幅広く検討を重ねるため、国や関係市町村と「米子・境港地域と道路のあり方勉強会」を平成24年8月設立し、これまで3回開催したところ。

(4) 地域高規格道路「山陰近畿自動車道」について

(ア) 山陰近畿自動車道の整備推進に向けた取組

平成 24 年 5 月 30 日に鳥取県・兵庫県・京都府知事による山陰近畿自動車道整備推進協議会（会長：京都府知事）を設立し、本年 1 月 25 日には東京で「山陰近畿自動車道 サミット in 東京」を開催した。

同サミットにおける石破自由民主党幹事長からの提案により、本年 4 月 24 日に国会議員有志による「山陰近畿自動車道整備推進議員連盟」が設立されたことに合わせ、三府県議会議員有志においても「山陰近畿自動車道整備推進三府県議会議員の会」を設立されるなど、整備推進を支援する体制が急速に強化されてきたところ。

(イ) 岩美道路

西工区（岩美 IC～浦富 IC 間）を先行整備しており、主要構造物である道竹城トンネルについては平成 26 年度の貫通を目指している。また、東工区（浦富 IC～東浜 IC 間）については本年度から設計及び用地測量を進めている。

(ウ) 山陰道～福部 IC

現在未着手区間となっている「山陰道」～「駟馳山バイパス」間の道路のあり方について、鳥取市のまちづくりの観点から検討を行うため、産官学の関係者による「高速道路ネットワークを活用したまちづくり勉強会」（事務局：鳥取市）を本年 7 月に設立し、これまで 2 回開催したところであり、ルートや整備の内容等について、年内に中間とりまとめを行う予定である。

(5) 地域高規格道路「北条湯原道路」について

(ア) 倉吉道路

本年 6 月 8 日に倉吉 IC～倉吉西 IC 間（3.3km）を供用した。引き続き、残る倉吉西 IC～(仮)小鴨ハーフ IC 間の 0.8km 区間について、用地買収、改良工事を進めている。

(イ) 倉吉関金道路

地元了解が得られた地区において、今秋から用地測量を行う予定であり、また一部流末排水路工事にも着手する予定である。

(ウ) 初和下長田道路（岡山県）

平成 24 年度に事業化され、本年度は用地測量、一部用地買収に着手し、来年度から着工予定である。

(6) 地域高規格道路「江府三次道路」について

(ア) 鍵掛峠道路

本年 8 月 23 日に開催された鳥取・広島両県知事会議において、両県が協力して整備推進を国に働きかけていくことを確認したところであり、10 月 7 日には事業を円滑に推進するため、関係者が緊密に連絡・調整を行うことを目的とした国・県・市町による事業推進会議を設立することとなった。

(イ) 江府道路

計画路線上に橋梁 3 基、トンネル 2 箇所的主要構造物があるが、現在、起終点側の渡河橋梁 2 基を中心に整備を進めている。

